

## 第 2 期基本計画 めざす状態一覧

基本的施策		めざす状態
1	市民自治活動・学び	自ら学び、地域活動や市民活動に取り組む市民が増えている
2	人権・多文化共生	互いの個性を認め合い、尊重し、支え合う市民が増えている
3	こども・子育て支援	こどもたちの豊かで健やかな成長のための環境が整っている
4	学校・教育	主体的に楽しく学ぶこどもたちが増えている
5	高齢者支援・障がい者支援	自分らしく暮らし続けるための支援体制が充実している
6	地域福祉	困難に寄り添う支援ができる、誰にでも居場所と活躍の場がある地域づくりが進んでいる
7	健康づくり・医療	健康に関心を持つ人が増え、健康寿命が延伸している
8	防災・減災・消防	市民（自助）・地域（共助）・行政（公助）が協働し、いのちと暮らしを守る取組が進んでいる
9	産業・雇用就労（1）	地域の経済循環が高まり、多様な働き方が広がる職住近接のまちが実現している
	産業・雇用就労（2）	農地が保全され、「農」のある新しいライフスタイルが広がっている
10	生活環境	まちの生活環境が安全・快適・清潔に保たれている
11	脱炭素・循環型社会	多様な主体との協働により、環境にやさしいまちが実現できている
12	街の空間づくり	快適で安全な空間づくりにより、出かける人が増えている
13	都市基盤	くらしを支える都市基盤の整備・更新が進み、魅力ある街と快適な住環境が実現している

経営的施策		めざす状態
I	スマートシティ・DX	デジタル技術やデータの活用による、スマートシティの実現に向けた取組が進んでいる
II	市民協働・公民連携	それぞれの強みを活かし、多様な主体との協創のまちづくりが進んでいる
III	広報広聴・シティブロモーション	まちへの愛着・まちづくりへの共感が広がり、地域に関わろうとする意欲が増えている
IV	行政経営	財政規律を維持しながら、社会や住民ニーズの変化に対応できる仕事の進め方・働き方ができている

戦略的施策		めざす状態
1	子育て世代が住みやすい環境づくり	25歳～44歳を中心とした子育て世代の転入・定住が促進されている
2	地域共生社会の実現に向けた環境づくり	人と人とのつながりが豊かにあり、誰もが安心して暮らせる地域共生社会の実現に向けた環境づくりが進んでいる
3	多様な働き方と市内での経済循環の促進	市内で働く場が増加し、職住一体・近接型のライフスタイルが増えることで、市内での経済循環が拡大し、地域経済が活性化している
4	都市ブランドの構築	「暮らす価値のあるまち」という都市ブランドの構築に向けて、生駒への愛着や共感が広がっている。